

ほたるの里だより



八千代市ほたるの里づくり実行委員会
第42号 2013年9月

「ホタルを守ろう！ザリガニ釣り大会」を開催しました

夏も終わりに近い、8月24日に「ホタルを守ろう！ザリガニ釣り大会」を開催しました。

開会時間の9時に近づくと、心配された天気も回復にむかい、親子連れをはじめ、ほたるの里に普段から来ている方、はじめて訪れる方など50人以上の方が参加されました。加藤会長のあいさつのあと、大会はスタートしました。参加者はそれぞれ思い思いの場所へ移動しザリガニ釣りのさおをたらしはじめました。ザリガニを釣るのが難しかったためか、親子で一緒に協力して、真剣に釣りをしていたのが印象的でした。暑さも強くなっていく中、ザリガニ釣り大会は終了し、合計で31匹のザリガニを駆除することができました。ザリガニが例年より少なくなったのは、環境整備等によりホタルにとってはすみやすい環境に少しでも近づいたということでしょうか？

今年は昨年に引き続き石井食品株式会社の協賛により、大会の上位者・参加者に商品をプレゼントすることができました。また、TOTO株式会社にも協力を頂きました。参加者のみなさんお疲れ様でした。

ホタルを守るために実施している、ザリガニ釣り大会。アメリカザリガニは外来種であり、在来の生き物へ大きな影響を与えます。その駆除をするために多くの方に、協力して頂くことができました。これを機に、その地域にいなかった生き物は、放してはいけないという生物多様性保全に対する理解を深めて頂くこともできたのではないのでしょうか。



ザリガニ釣り大会参加者の声

「むずかしかった！大きかった！」 なおきくん
「お母さんと一緒につることができた。
ザリガニをつれて楽しかった！」 たいちくん

また、ザリガニ釣り大会が終わってからも釣りをしている家族の姿を見て、あらためてほたるの里が生き物の保全の場所であると同時に憩いの場所でもあることを感じました。

15周年にあたり、憩いの場、希少生物の生育の場、そして環境保全活動の場としてのほたるの里の活動を、今後も継続していく必要性をあらためて感じました。

(環境政策室)

25年度ホタルメイト団体 人もホタルも輝く街へ！！私たちはほたるの里を応援しています！

石井食品株式会社 NPO 法人高齢者福祉ネット NPO法人子どもネット八千代 NPO法人八千代オニコス

ガールスカウト千葉県第57団 株式会社斉藤鑿泉管工 株式会社千葉分析センター Kid's☆garden

共栄物流株式会社 クボタ環境サービス株式会社 CAC スイミングスクール勝田台 Take まつげ専門店 トーネット株式会社

日産自動車八千代営業所各支店 八千代ホタルフォーラム 有限会社 A 有限会社ふれあい総合企画 米本団地自治会

『夜の生き物観察会』報告

2013年7月25日(木) 19:00 ~ 20:30

ふるさとステーション付近 参加者 28名

順次、受け付けを済ませ、加藤会長の挨拶も短めにいざ、ふるさとステーションを出発。

川沿いに出るとあちらこちらにセミの脱け殻がありました。懐中電灯で探すと、桜の木には羽化を始めたばかりのセミたちが真っ白な体を出そうとしているところでした。中々出られないので後で戻ることにして、川沿いに歩きながら、寝ているクズの葉を観察。ウシガエルやシュレーゲルアオガエルなどカエルの鳴き声の違いを聞きながら、バッタやクサキリも発見する事が出来ました。ほたるの里の周辺の水田にはオモダカが見られ、ほかの水田よりも農薬が少ないのではということでした。いよいよ『ほたるの里』に着き、ホタルを観察しました。残念ながら池での飛翔は見られませんでした。ホタルハウスで2匹確認できました。八千代固有のヘイケボタルは優しく淡い光で、懐中電灯を消して観察していた参加者から「いた!」とか「見えた!」と小声で話す様子にホタルを驚かせないように…なのか、優しさを感じました。ほたるの里では、ほかにカミキリムシ科最大のシロスジカミキリも見られました。ほたるの里を



アブラゼミの羽化

出るとハクビシンが電線を歩いているのに遭遇…まさに、夜、出没の生き物ですね!見事な綱わたりです。帰り道には真っ暗な所にほんやりと光を集めながら見事に咲くカラスウリの花。また、しばらく行くとフェンス一面、妖艶に咲き誇っています。白い花びらから延びるレースのような花は大きいけれど見るからに繊細。夜にしか咲かない一夜だけの夢い花です。

ふるさとステーションに戻ると、先ほどのセミは見事に羽化し、あちらこちらに淡く緑の線をあしらった真っ白なアブラゼミが、ぶら下がって羽を伸ばしていました。明日の朝には茶色になって飛び立つのでしょうか。

ホタルも、セミも、カラスウリの花も夢いけれど、ずっと生息できる環境を私たちは守っていかなくては行けないと改めて感じました。ぜひ皆さんも出かけてみてくださいね。

《夏の日に 虫を求めて 漫ろ歩き 身も心も清々 ナイトウォッチング》 (文:武田 絵:森)

柏ホタルの会

柏ホタルの会の現地は東武野田線、新柏駅近くで、住宅地から少し離れ、中原小学校に隣接した場所にあります。ホタルの会、会長のお話では以前はゴミの山と化していた所にホタルが自生しているのが分かり、関係者が協力して整備し、現在のホタルが飛び交う生息地になったとのことです。

自生するゲンジとヘイケのほか、養殖したヘイケボタルの幼虫 1,000 匹を放流し、観察会の日には約 1,500 人が訪れます。現地は窪地で樹林の中にあり、見た目には溜まり水のように見えますが、1~2cmの深さで湧水が流れ湿地のような環境で、散った落葉もそのままにして出来るだけ人の手を加えないとのことでした。ザリガニは自分の背が水から出るのを嫌い、少し深くしたザリガニ溜まりに集まったのを捕獲することと、柏ホタルの会の環境や伺ったお話等は大変参考になり、ほたるの里に活かしたいと思います。

(深澤)

習志野 NORA の会のヘイケボタルを見学してきました

6月8日(土)、ほたるの里でヘイケボタルを放流し、整備作業を済ませた後、夕方 NORA の会が活動している、実籾自然保護地区ほたる野へ、5人で出かけました。

ホタル野は、斜面林、畑、田を、農家・小学校・市民団体等が活用しています。NORA の会の活動場所は、斜面林側にあり、地下水を活用し、湿地内には、水深の変化をつけるため起伏が作られていました。又斜面林の木を活かし、光をうまくさえぎりホタルが生息しやすい環境づくりへの配慮が見られました。解説をしていただいた会長さんはじめホタルメイトの小野さん達と、田んぼバー?(カフェ)でおもてなしいただいていると、20匹くらいのヘイケボタルの光の点滅が見えて、幻想的な空間を体験しました。

(桑波田)

～ きっずコーナー ～

秋の七草

あき ななくさ まんようしゅう やまのうえのおくら ひと ななくさ うた
 秋の七草は、万葉集に山上憶良という人の七草の歌がのせられてい
 る。古くから日本人々にしたしまれてきました。八千代市にも生えています
 で、見つけてみましょう。



はぎ はな おばな くずばな はな おみえし ふじばかま あさがお はな
 『萩が花 尾花 葛花 なでしこの花 女郎花また藤袴 朝顔の花』

昆虫展 in 八千代 — 世界の昆虫がやってきた —

八千代市立郷土博物館 主査 野木雅生

夏休み期間中に郷土博では企画展「昆虫展 in 八千代 — 世界の昆虫がやってきた —」を環境保全課との共催で開催した。この企画展では、大きく分けると「八千代の昆虫」「世界の昆虫」「八千代の自然」について情報を発信した。

「八千代の昆虫」では、八千代市の環境調査（H11～14年）で採集されたハチやチョウ等を展示した。特にチョウの展示では、「八千代市にも、こんなに色とりどりのチョウが生息しているんだ」と大人の方々にも興味深く見ていただくことができた。

「世界の昆虫」では、世界一強い昆虫と言われているヘラクレスオオカブトや世界一輝いている昆虫と言われているモルフォチョウなど、普段では見られない昆虫を展示した。子どもたちが世界の昆虫の姿に目を輝かせている姿はとても印象的であった。

「八千代の自然」では、八千代の谷津やほたるの里、そして生物多様性の事柄について紹介した。市民の方が生活されている八千代の自然について知ってもらえる絶好の機会となったのではないかなと思う。

今回の企画展は私たちが予想していた以上の多くの来館者があった。改めて昆虫の人気の高さを感じた。そしてアンケートを見させていただくと、「自然」についての関心の高さも感じた。この企画展を通して、八千代市や世界で生息している昆虫についてさらに興味を持っていただき、その昆虫が生活している自然の素晴らしさや保全の意味について少しでも考えていただければと感じている。

ほたるの里づくり実行委員会は昆虫展の中でパネル展示を行いました。今年は、年間の活動内容やホタルの生態などをはじめ、TOTO水環境基金からの助成を受けて行っている「ほたるの里生き物調査」の活動についてのパネルも展示しました。ホタルのオス・メスの違いをはじめ、ほたるの里にはさまざまな生き物がいること、ほたるの里の活動について多くの人に知って頂く機会になったのではないかと思います。今後、ほたるの里に興味を持ってもらい、生き物調査が充実したものとなればと思います。
 （環境保全課）

募集中

ほたるの里作品

今年もほたるの里やホテルをテーマにした「ほたるの里作品展」を開催します。募集期間は9月中です！

■ 募集作品

写真・絵画（絵手紙を含む）・書・和歌・俳句・工芸

■ サイズ

写真…キャビネから4つ切りまで

絵画…はがきサイズからF6程度まで

書…半切りまで

■ 応募方法

作品は台紙に貼るか額に入れ、吊り下げ可能な状態にして、市役所2階環境政策室へ持参してください。

皆様からのご応募、お待ちしております。

ほたるの里作品展の開催

作品展にご応募いただいた作品は、下記の日程で展示予定です。同時開催として「谷津・里山作品展」も予定していますので、ぜひ、足を運んでみてください。

■ 日時・場所

10/16(水)～22(火)：勝田台市民文化プラザ

11/5(火)～11(月)：イトーヨーカドー八千代店

ほたるの里 環境整備

今後の予定（調査後整備作業を実施）

9月21日(土) 草花・昆虫／稲刈り

11月19日(土) 草花・昆虫・鳥の調査／整備

（両日とも実施時間：9：00～12：00）

やちよ市民活動サポートセンター祭り

「第10回こんにち“わ”！ふれあいまつり」

今年はほたるの里づくり実行委員会も参加します。ほたるの里の15年の歩みや生き物調査中間報告等を紹介します。ぜひお出かけください。

■ 日時・場所

11月2日(土)10：00～17：00

フルルガーデン八千代 噴水広場

■ 主催

やちよ市民活動サポートセンター祭り実行委員会
八千代市

募集中

「里山シンポジウム」の開催

今年の里山シンポジウムは、「里山と昆虫」をテーマに開催します。さらに環境省自然環境局が主催する『平成25年度 里なび研修会 in 千葉県八千代市～光害対策と都市近郊の谷津・里山の生き物ネットワークづくり～』と共催で開催します。

■ 日時 11月2日(土)13：30～17：00

■ 場所 やちよ農業交流センター

■ 内容

・基調講演 「昆虫の生態と生息環境づくり」

講師 ぐんま昆虫の森名誉館長 矢島 稔 氏

・事例報告 3例

・パネルディスカッション

コーディネーター

竹田 純一 氏 里地ネットワーク事務局長

■ 募集人数 100人

■ 主催 八千代市環境保全課環境政策室・環境省自然環境局

■ 問い合わせ先 八千代市環境保全課(047-483-1151)

ほたるの里の写真を募集します

実行委員会発足15周年を記念し、各種イベント用の写真を募集します。懐かしのイベントやほたるの里の風景など、ご応募ください。（※お問い合わせは事務局まで）

ホテルメイト募集

●年会費（4月～翌年3月）

個人 500円／市民団体・事業所 2,000円

●受け付け

市役所2階環境保全課の窓口やイベント、里の環境整備時。また郵便局からの郵便振替でも納入可。

※郵便局でお振込の場合

払込先：八千代市ほたるの里づくり実行委員会

口座番号：00150-7-670156

振替手数料：ATM 80円、窓口 120円

（ゆうちょ銀行カードを利用するとATM振替手数料が無料になります。）

【ほたるの里 連絡先】

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局

〒276-8501 八千代市大和田新田312-5

八千代市役所環境保全課 内

Tel：047-483-1151 E-mail：kankyout1@city.yachiyo.chiba.jp

HP：<http://www.city.yachiyo.chiba.jp/123508/page000009.html>

【編集】 広報部会 事務局